

茂木 好光(佐沼高等学校)
森田 義史(松島町教育委員会)
佐藤 優(大崎市教育委員会文化財課)
古田 和誠(女川町教育委員会)
佐藤 洋一(蔵王町教育委員会)
佐藤 秀一(角田市教育委員会)

〈会誌〉

代表幹事: 村田 晃一(宮城県教育委員会)
熊谷 篤(岩沼市役所商工観光課)
傳田 恵隆(宮城県教育委員会)
小野寺智哉(登米市歴史博物館)

〈連絡紙〉

代表幹事: 柳澤 和明(東北歴史博物館学芸部)
鈴木 朋子(亶理町教育委員会)
関根 章義(仙台市教育委員会)
田村 正樹(七ヶ浜町教育委員会
七ヶ浜町歴史資料館)
中野 祐平(石巻市教育委員会生涯学習課)
小泉 博明(仙台市教育委員会文化財課)
廣谷 和也(宮城県多賀城跡調査研究所)

〈監事〉

高橋 守克(多賀城市教育委員会文化財課)
太田 昭夫(名取市教育委員会)

博物館展覧会情報

特別巡回展

「みやぎの古瓦-奈良国立博物館所蔵内藤政恒コレクション-」

【涌谷町天平ろまん館】

会期 平成26年10月4日(土)~11月30日(日)

開館時間 9:30~17:00 休館日 期間中無休

観覧料金 一般500円、小中高生200円

【色麻町農業伝習館資料展示室】

会期 前期 平成26年12月6日(土)~12月23日(火)

後期 平成27年3月1日(日)~3月29日(日)

開館時間 10:00~16:00

休館日 月曜日(祝祭日を除く)・祝祭日の翌日

観覧料金 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料

宮城県考古学会役員会からのお知らせ

宮城県考古学会役員会では、現在『災害の考古学—震災を越えて(仮称)』刊行特別委員会の発足について検討されています。その概要について会員の皆様にお知らせいたします。

1. 目的

東日本大震災を契機に、宮城県の自然災害に関わる各時代の研究成果及び文化財レスキューの記録などを集約し、わかりやすい形で一般に提供(販売)することを目的とする。

2. 内容

①自然災害の考古学的調査研究の成果、②文化財レスキューの記録

3. 刊行期日

震災発生から5年目(2016. 3. 11)の刊行を目指す。

4. メンバー

委員長は委員の互選で決定し、委員は一般への分かりやすさを達成するため、教員経験者を起用する。

また、教員経験者4名に加えて、東日本大震災特別委員会から2名、総務・企画・会誌・連絡紙幹事会から各1名を選出し、計10名程度の人数とする。

5. 今後のスケジュール(予定)

12月13日(遺跡調査成果発表会)準備会結成の経緯と報告
平成27年1月 準備会の結成、活動開始

5月 総会で議決を図り、刊行特別委員会発足

会誌「宮城考古学」への投稿案内:原稿募集中です!

会誌『宮城考古学』第17号(2015年5月発行予定)への投稿を募集しています。

投稿は事務局からの依頼原稿を除き、原則として宮城県考古学会会員に限ります。共著の場合は著者のうち1人は宮城県考古学会会員であることを条件とします。

原稿締め切りは2015年1月31日です。投稿希望の方は2014年11月30日までに、予定ページ数や概要などを下記のアドレスまでお知らせください。現行の採否は翌年2月末までに執筆者に連絡します。原稿多数の場合、次回掲載となることもありますので、ご了承ください。

〈書式について〉

- ①A4版横組(縦297mm×横210mm)。版面は縦233mm×148mm。
- ②本文は10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。註・引用文献は9ポイント・明朝体で横書き・47字×48行。ヘッダやフッタなどは記載しないでください
- ③論文:本文、挿図、写真、表などを含め、18頁以内。
- ④研究ノート:試論、予察、着想などの短論文。12頁以内。
- ⑤報告・速報:注目される発掘調査の報告や測量調査など。8頁以内。
- ⑥資料紹介:8頁以内。
- ⑦抜刷部数は最大100部(進呈30部を含む)。

〈連絡先〉宮城県考古学会会誌幹事会 代表 村田 晃一

情報・寄稿などをお寄せ下さい!!

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

〈連絡先〉柳澤和明(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)